

JR西日本連合第33回委員会を開催

魅力あるJR西日本連合を創り上げよう

JR西日本連合は、2026年2月10日(火)、TKPガーデンシティ大阪リバーサイドにおいて、JR西日本連合幹事会を代表して羽野議長が、第33回委員会を開催し、幹事会委員、来賓、傍聴を含めて約150名が集結した。初めに、JR西日本連合幹



JR西日本で働く仲間にとって
魅力あるJR西日本グループの構築に向け団結ガンパロー

事会を代表して羽野議長が、①第3四半期決算②安全③2026春季生活闘争④魅力あるJR西日本グループ⑤第51回衆議院議員選挙⑥新たな中期経営計画について挨拶を行った。特に、2026春季生活闘争については、物価高対策、産業間格差の是正、契約単価委託費の改善に向けた決意が示された。

疑では多くの委員から発言があり、JR西労組本部の福本副委員長が「安全確保立2026春季生活闘争の2点について発言を行った。安全確保立については「安全お守り手帳」を活用した職場点検、ABC運動の更なる浸透に向けての取り組みと、福知山線列車事故を忘れず心に刻む取り組みを決意。2026春季生活闘争については「人財への投資」



幹事会を代表して挨拶する羽野議長



来賓挨拶をするJR連合住吉労働政策局長



川原事務局長の総括答弁



JR西労組を代表して発言する福本副委員長

JRグループ労組連絡会 2026春季生活闘争総決起集会

JRグループ労組連絡会(バーサイドホテルにおいて、2026年2月10日(火)、026春季生活闘争総決起集会を開催し、約180名が集結した。冒頭、JRグループ労組連絡会を代表して、海上代表幹事が、①賃上げの定着②賃金の格差是正③人財流出④誇りを持つ環境整備⑤適正な分配構造の構築について挨拶を行った。



JRグループ労組連絡会を代表して挨拶する海上代表幹事

最後に、海上代表幹事の団結ガンパローで意思統一を図り、総決起集会を締めくくった。



来賓を代表して挨拶する上村JR連合会長

を中心とした成長投資を積極的に進めるため、第44回中央委員会を確認したベースを述べた。川原事務局長の総括答弁後、全ての議事を満場一致で確認し、最後に羽野議長の強い団結ガンパローで委員会を締めくくった。

平和の想いをつねに意識して活動しています

広島間接支部は、広島エリアの間接部門に従事する約450名、5分会からなる組織です。間接業務は、会社の中でバックアップ的な業務が多く、部門間調整における潤滑油としての機能する役割を担っています。

広島間接支部では、間接の立場から業務組織課題の問題点や改善点を議論し、解決に向けて上部組織への提言、



平和活動「千羽鶴奉納」

支部として、レクリエーション活動を中心に、昨年度は野球観戦やいちご狩り等を実施しました。組合員からは「次回も参加したい」「顔は知っていた

共有をはじめとして、「横のつながり」と「平和活動」の2点を軸に活動しています。まず「横のつながり」です。中国エリアにおける間接業務は広島に集約されていること

ことから、広島間接支部には様々なエリア出身の組合員が集まっています。そのため、組合活動を通じた「横のつながり」の醸成が重要となります。



横のつながりを大切に活動しています

けど初めて話した」など好評を博しました。次に「平和活動」です。連合や地本が主催する平和関連行事への積極的な参加を

呼び掛けています。上述の通り、広島間接支部は様々な出身エリアの組合員から構成されており、これまでの平和に関する想いや教育内容は組合員により様々です。しかし、広島で働く以上は、広島

の「平和」でなければ私たちがの当たり前の日常生活は成されておらず、これまでの平和に関する想いや教育内容は組合員により様々です。しかし、広島で働く以上は、広島

これからの日々、組合員ファーストをモットーに活動していきたいと思っています。(広島地本発)

JR連合より上村会長、石川産業政策局長にお越しいただき、代表として上村会長より、ONE TEAMで26春闘に挑む決意が示された。

住吉事務局長より、2026春季生活闘争方針が提起され、各分科会から26春闘に向けた決意表明がなされた。



26春闘勝利に向け団結ガンパロー

ロマンは実を結ぶ

広島地方本部 広島間接支部

No.377

